

アイヌ文化のある幸せ

北海道には歴史がない、文化がないと言われてきた。かつては何となくそれに納得もしてきた。転機は木彫刻家の故瀧口政満先生との出会いだった。先生はアイヌ民族ではないが、奥様がアイヌ。五〇年近く阿寒湖畔の「アイヌコタン」に住まわれた。「木の声に耳を傾ける」なから生まれた、時にやさしく、時に凛々しい作品の虜になった。私にとつてのアイヌ文化への入り口は木彫刻からだった。

幼少時代から、学校などでいつもアイヌ民族がそばにいた。ことが当たり前で、特別な意識は持たなかった。アイヌの生き方や歴史に関心が深まったのはコタンのエカシ（長老）から様々な教えを受けてからだ。特に衝撃的だったのは、「イランカラプテ」という挨拶言葉。「こんにちは」を意味し、もともとは「あなたの心にそつと触れさせて下さい」という温かさと謙譲にあふれた本当に素晴らしい言葉であり、自然と共生し平和に暮らしてきたアイヌの生き方を象徴していると思う。二〇一三年から北海道のおもてなしの合言葉にしようという道を中心に、「イランカラプテ」キャンペーンが始まった。

アイヌ民族の教えに「人間は自然の一部」「自然の恵みはカムイ（神）が与えて下さるもの」とある。東日本大震災の直後、エカシに呼ばれた。「この度の大災害は明らかに人災だ。アイヌはカムイを敬つ

おおにし ままゆき 大西 雅之

プロフィール
1955年北海道生まれ。鶴雅ホールディングス株式会社代表取締役社長、NPO法人阿寒観光協会まちづくり推進機構理事長、北海道の自然と一体となった温泉旅館を展開、また自然、アイヌとともに生きる阿寒の町づくりに取り組む。アイヌ政策推進会議委員として、アイヌ文化の振興、伝統知の普及にも尽力している。

て生きているが、その敬いの八割は畏れなのだ。このまま人間が畏れを知らなければ、もつと大きな災害に見舞われる」と教えられ、私は重い言葉として受け取った。今までの自分達の生き方に対する投げかけの言葉でもあった。「北の大地で先住民族の英知に触れ、もう一度人生を見つめ直してみませんか」ということを、北海道をして阿寒からのメッセージにしたいと思う。

阿寒には日本最大の「アイヌコタン」がある。大自然、湖、マリモ、タンチョウもいるこのリゾート地の中にコタンがあり、滞在しながらアイヌ文化に触れてもらえるのは阿寒湖温泉の特徴である。釧路市は長崎市・金沢市と共に国から観光立国シヨークースに認定された。そのテーマは、「世界トップクラスの自然に抱かれ、自然との共生文化を体感するカムイの休日」を提供すること。その先に欧米豪を中心とするアドベンチャーツーリズムの聖地を目指したい。三大要素は、「自然」「アクティビティ」そして「異文化体験」と言われる。ナショナルジオグラフィック・フェローが阿寒湖でのアイヌアーティストの取材中に何度も口にされていた言葉「Fantastic!」。まさに阿寒は三大要素を兼ね備えていると自負する。これからも、アイヌ民族としっかりと手を携えてこの夢に向かっていきたい。

月刊 みんなぱく

2月号目次

- | | | | |
|----|---|----|--|
| 1 | エッセイ 千字文 アイヌ文化のある幸せ 大西 雅之 | 12 | みんなぱく Information |
| | 特集 熊こそが原点 —— 木彫家 藤戸竹喜の創作の軌跡 | 14 | 想像界の生物相 ベニンの魚足王 戸田 美佳子 |
| 2 | 「アイヌ工芸展」のあらたな時代 齋藤 玲子 | 16 | 新世紀ミュージアム 中国国家博物館 飯田 卓 |
| 3 | 座談会 アイヌとして 熊彫りとして 藤戸 竹喜、藤戸 茂子、五十嵐 聡美、 岡田 恵介、佐藤 弥生、齋藤 玲子 | 18 | 手芸考 「手芸」誕生 —— バングラデシュの刺繍布カンタから 五十嵐 理奈 |
| 9 | JR 札幌駅のエカシ像 本田 優子 | 20 | ながなんぢや ひり出せ糞！ 星 泉 |
| 10 | 〇〇してみました世界のフィールド 大阪の都市景観の変遷を探る 内田 吉哉 | 21 | 次号予告・編集後記 |